

# 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ懇談会(もりこん) 147		
タイトル	イオンの取り組む環境・社会貢献活動生物多様性保全の活動を中心に		
実施日時	平成29年9月21日(木) 18:45~20:45		
実施場所	船橋中央公民館第2集会室		
受講者	8名	FIC会員	8名

## 活動の内容

講師は千葉県森林インストラクター会でイオンに勤められている木下順二さん。

最初に小売り業としてのイオンの会社概要の説明があり、イオングループが「生物多様性の保全」や「低炭素社会の実現」「資源の有効利用」「社会的課題への対応」の4つの基本方針のもと持続可能な社会の実現を目指す理念について説明があった。

これらの取り組みについては創業者の岡田卓也氏の自宅で四日市公害の影響で庭の木の被害があったことがきっかけになったとのエピソードをビデオで視聴した。

次にイオンでは東日本大震災で被害のあった東北の海岸林や千葉県では千葉市・浦安市など全国で植樹活動を行い、その植樹合計は11,400,000本を超えるに至っている。

また店舗の敷地内にビオトープを始め鎮守の森的な試みも行っておりこのような取り組みはいきもの共生事業所 ABINC 認証を得ている。

さらには森を活かす取り組みとしてグループのコンビニ「ミニストップ」などでFSC認証(森林を適切に管理し、そのような森林から生産された木材を使って製品を作り、流通させ、消費者に届ける)された木材を使った店舗の展開を積極的に推進している。

木造のメリットとしては資源のリユース・リサイクルそしてコストの低減が図れることにある。

そのほか環境や生物多様性の保全などに配慮した農水産物における認証を推進している。例として完全養殖、ASC認証商品、MSC認証商品、オーガニック商品、国際フェアトレード商品などである。

参加者からは植樹の例や身近に店舗があるので問題点や課題についても積極的な質問が多かった。また、上記の認証商品についてほとんどの認識していなかったため、立ち寄った際には見てみたいとの感想などもあった。



11,441,925 本植樹実績



各種認証商品